

## 瀬戸市 男女共同参画に関するアンケート調査項目案一覧表（審議会委員意見）

問番	設問	比較可能項目			備考
		前回	県	国	
<b>【あなた自身のことについて】</b>					
問1	あなた自身のことについておたずねします。				
(1)	あなたの性別は、次のうちどれですか。（○はひとつ） ①男性 ②女性 ③答えたくない、わからない、その他				LGBTQを考慮する問い方は難しいですね。
(2)	あなたの年齢は、次のうちどれですか。（○はひとつ） ①20歳未満 ②20～29歳 ③30～39歳 ④40～49歳 ⑤50～59歳 ⑥60～69歳 ⑦70歳以上				
(3)	あなたの主な職業は、次のうちどれですか。（○はひとつ） ①会社員・公務員（会社役員を含む） ②派遣・契約社員 ③パートタイマー・アルバイト ④自営業・農業（家族従業者を含む） ⑤自由業（医師、弁護士、会計士、作家、芸術家など） ⑥家事専従（主婦、主夫など） ⑦無職 ⑧学生 ⑨その他				
(4)	あなたの家族構成は、次のうちどれですか。（○はひとつ） ①単身世帯（一人暮らし） ②夫婦・パートナーのみ ③親と子（2世代） ④親と子と孫（3世代） ⑤その他				
(5)	あなたは結婚していますか。（○はひとつ） ①結婚している ②結婚していたが、死別・離別した ③結婚していないが、パートナーと暮らしている ④未婚				①「結婚」は結婚・事実婚を含みますか。 ③は同性を意図していますか。DV法との関係もあり迷いました。
(6)	(5)で①・③と答えた方におたずねします。あなたは共働きをしていますか。（○はひとつ） ①している ②していない				
(7)	あなたにはお子さんはいますか。（○はひとつ） ①同居している子どもがいる ②子どもはいるが同居していない ③子どもはいない				
(8)	家族に介護を必要とする人はいますか。（○はひとつ） ①同居している家族に介護を必要とする人がいる ②家族に介護を必要とする人はいるが同居していない ③家族に介護を必要とする人はいない				「家族」とは同居家族の意味ですか。あなたが介護している（協力している）人がいるかどうか？
<b>【男女平等について】</b>					
問2	以下のA～Hの分野において男女の地位は平等になっていると思いますか。（各分野についてそれぞれ○はひとつ）	○	○	○	
A	家庭生活 ①男性の方が優遇されている ②どちらかといえば男性の方が優遇されている ③平等	○	○	○	

問番	設問	比較可能項目			備考
		前回	県	国	
	④どちらかといえば女性の方が優遇されている ⑤女性の方が優遇されている ⑥わからない・どちらとも言えない				
B	職場 ①男性の方が優遇されている ②どちらかといえば男性の方が優遇されている ③平等 ④どちらかといえば女性の方が優遇されている ⑤女性の方が優遇されている ⑥わからない・どちらとも言えない	○	○	○	
C	学校教育の場 ①男性の方が優遇されている ②どちらかといえば男性の方が優遇されている ③平等 ④どちらかといえば女性の方が優遇されている ⑤女性の方が優遇されている ⑥わからない・どちらとも言えない	○	○	○	
D	地域活動（自治会、町内会）の場 ①男性の方が優遇されている ②どちらかといえば男性の方が優遇されている ③平等 ④どちらかといえば女性の方が優遇されている ⑤女性の方が優遇されている ⑥わからない・どちらとも言えない	○	○	○	
E	政治の場 ①男性の方が優遇されている ②どちらかといえば男性の方が優遇されている ③平等 ④どちらかといえば女性の方が優遇されている ⑤女性の方が優遇されている ⑥わからない・どちらとも言えない	○	○	○	
F	法律や制度の上 ①男性の方が優遇されている ②どちらかといえば男性の方が優遇されている ③平等 ④どちらかといえば女性の方が優遇されている	○	○	○	

問番	設問	比較可能項目			備考
		前回	県	国	
	⑤女性の方が優遇されている ⑥わからない・どちらとも言えない				
G	社会通念・慣習・しきたりなど ①男性の方が優遇されている ②どちらかといえば男性の方が優遇されている ③平等 ④どちらかといえば女性の方が優遇されている ⑤女性の方が優遇されている ⑥わからない・どちらとも言えない	○	○	○	
H	社会全体 ①男性の方が優遇されている ②どちらかといえば男性の方が優遇されている ③平等 ④どちらかといえば女性の方が優遇されている ⑤女性の方が優遇されている ⑥わからない・どちらとも言えない	○	○	○	
問3	男女があらゆる分野で平等になるためには何が重要だと思いますか。(○はいくつでも) ①法律や制度の見直しを行い、性差別につながるものを改める ②女性を取り巻くさまざまな偏見や社会通念、慣習、しきたりなどを改める ③男性を取り巻くさまざまな偏見や社会通念、慣習、しきたりなどを改める ④女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図る ⑤女性の就業・社会参加を支援する施設やサービスの充実を図る ⑥男性の家事・育児・介護などの家庭参画を促進する ⑦行政や企業などの重要な役職に女性を積極的に登用する制度を採用・充実する ⑧学校教育や社会教育・生涯学習の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する ⑨その他(具体的に： ) ⑩わからない		○		「男女が…」という質問に対して選択肢②③は男女それぞれあるのですが④⑤は女性のみになっているので、男性に関する質問もあっていいのではないのでしょうか。
【女性の活躍について】					
問4	女性が増えるとよいと思う職業や役職は何ですか。(○はいくつでも) ①国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員 ②都道府県・市町村の首長 ③国家公務員・地方公務員の管理職 ④企業の経営者・管理職 ⑤弁護士・医師などの専門職 ⑥大学・企業などの研究者・技術者		○	○	

問番	設問	比較可能項目			備考
		前回	県	国	
	⑦小・中・高校の管理職 ⑧自治会・PTAなどの役員 ⑨その他（具体的に： ) ⑩女性が増えない方がよい ⑪わからない				
問5	一般的に女性が職業を持つことについて、あなたはどうお考えですか。(○はひとつ) ①ずっと職業を持つ方がよい ②結婚するまでは職業を持つ方がよい ③子どもができるまでは職業を持つ方がよい ④子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい ⑤女性は職業を持たない方がよい ⑥その他（具体的に： ) ⑦わからない		○	○	県と国に沿った質問のため、変更すべきとは思いませんが、ひとつしか選べない選択肢がこのようだと少し残念な気持ちになります。職業を持つことは、性を問わず個人の自由選択だと思いますので、その選択肢が用意されていないことが少し残念です。
問6	女性が出産後なども離職せずに働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いますか。(○はいくつでも) ①保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備 ②介護支援サービスの充実 ③家事・育児支援サービスの充実 ④男性の家庭参画への理解・意識改革 ⑤女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革 ⑥働き続けることへの女性自身の意識改革 ⑦男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方の改革 ⑧職場における育児・介護との両立支援制度の充実 ⑨短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入 ⑩育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止 ⑪その他（具体的に： ) ⑫特にない ⑬わからない		○		
【仕事と生活の調和（ライフ・ワーク・バランス）について】					
問7	生活の中で、仕事、家庭生活、地域・個人の生活で何を優先しますか。(A, Bについてそれぞれ○はひとつ)				
A	理想として ①「仕事」を優先したい ②「家庭生活」を優先したい ③「地域・個人の生活」を優先したい ④「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	○	○	○	

問番	設問	比較可能項目			備考
		前回	県	国	
	⑤「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい ⑥「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい ⑦「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を両立したい ⑧その他（具体的に： ⑨わからない				
B	現実として ①「仕事」を優先している ②「家庭生活」を優先している ③「地域・個人の生活」を優先している ④「仕事」と「家庭生活」をともに優先している ⑤「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している ⑥「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している ⑦「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を両立している ⑧その他（具体的に： ⑨わからない	○	○	○	
問8	あなたが平日に家事・育児・介護などに携わる時間はどのくらいですか。（A～Cについてそれぞれ○はひとつ）				
A	家事 ①30分未満 ②30分～1時間未満 ③1時間～3時間未満 ④3時間～5時間未満 ⑤5時間以上 ⑥全く携わっていない	○			
B	育児 ①30分未満 ②30分～1時間未満 ③1時間～3時間未満 ④3時間～5時間未満 ⑤5時間以上 ⑥全く携わっていない・該当しない	○			
C	介護 ①30分未満 ②30分～1時間未満 ③1時間～3時間未満 ④3時間～5時間未満	○			

問番	設問	比較可能項目			備考
		前回	県	国	
	⑤5時間以上 ⑥全く携わっていない・該当しない				
問9	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考えについてどう思いますか。(〇はひとつ) ①賛成 ②どちらかといえば賛成 ③どちらかといえば反対 ④反対 ⑤わからない・どちらとも言えない	○	○	○	
問10	問9で①・②と答えた方におたずねします。それはなぜですか。(〇はいくつでも) ①日本の伝統的な家族の在り方だと思うから ②自分の両親も役割分担をしていたから ③夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから ④妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから ⑤家事・育児・介護と両方しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから ⑥その他(具体的に： ) ⑦特にない ⑧わからない	○	○	○	
問11	あなたは何か地域の活動に参加した経験はありますか。(〇はひとつ) ①現在参加している ②かつて参加していたが現在はしていない ③参加したことはない	○	○		
問12	問11で①・②と答えた方におたずねします。現在(今までに)どのような活動に参加していますか(した経験がありますか)。(〇はいくつでも) ①PTA・子ども会などの活動 ②町内会・自治会の活動 ③老人クラブ・高齢者の会の活動 ④福祉や子育て支援などのボランティア活動 ⑤教養・趣味・スポーツのサークル活動 ⑥公民館の活動 ⑦地域力向上組織の活動 ⑧環境保全やまちづくりなどの市民活動 ⑨その他(具体的に： )	○	○		
問13	あなたが地域活動をしようとする場合、支障となっていたり、支障となるであろうと思われることがありますか。(〇はいくつでも) ①仕事が忙しくて時間がない ②家事や育児、介護で時間がない	○			

問番	設問	比較可能項目			備考
		前回	県	国	
	③家族の理解や協力が得られない ④地域や親せきなど周囲の目が気になる ⑤一緒に活動する仲間がない ⑥活動に関する情報がない ⑦関心がない、または興味のある内容がない ⑧その他（具体的に： )				
問14	男性が女性とともに家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも） ①男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと ②男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと ③夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること ④年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること ⑤社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること ⑥男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること ⑦労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどのICT（情報通信技術）を利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持つようにすること ⑧男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと ⑨男性が家事・育児などを行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること ⑩その他（具体的に： ) ⑪わからない		○	○	
【防災における男女共同参画について】					
問15	男女共同参画や多様性の視点をとり入れた防災体制を構築するには、何が必要だと思いますか。（〇はいくつでも） ①性別にかかわらず多様な人々が一緒に防災活動や訓練に取り組む ②避難所などの運営の際、女性・乳幼児・介護が必要な人・障害者・LGBTQ（性的少数者）・国籍などを配慮した視点を持つ ③自主防災リーダーや災害ボランティアコーディネーターなど防災活動を担う女性を育成する ④性別や状況によって異なる災害時の備え（生活環境・物資・安全など）についての知識を普及する ⑤日頃から地域の男女共同参画を進める ⑥その他（具体的に： ) ⑦わからない				防災においても、男女だけでなくLGBT(Q)の視点もあるとより良いかと思いました。例えば、トイレや着替えスペースなどの表示が男女別表示だと困る人もいると思いますので。せっかくなので、こういうアンケートの中にも少しずつこのようなキーワードを入れて、皆さんの意識に働きかけするのも良いのではと思います。
【DV（ドメスティック・バイオレンス）について】					
問16	あなたはDVを受けた経験がありますか。（〇はひとつ） ①ある ②ない	○			
問17	問16で①と答えた方におたずねします。DVについて誰かに打ち明けたり相談したりしました	○			

問番	設問	比較可能項目			備考
		前回	県	国	
	か。(〇はいくつでも) ①相談しようとは思わなかった。 ②相談したかったが、相談しなかった ③公的な機関に相談した ④民間の相談機関に相談した ⑤弁護士、医師、カウンセラーなどに相談した ⑥家族、友人、先生などに相談した ⑦その他(具体的に： )				
問18	問17で①・②と答えた方におたずねします。相談しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも) ①誰に(どこに)相談してよいかわからなかった ②相談してもむだだと思った ③相談したことがわかると、仕返しされると思った ④自分さえ我慢すればよいと思った ⑤世間体が悪いと思った ⑥他人を巻き込みたくなかった ⑦子どもや家族に危害が及ぶと思った ⑧そのことについて思い出したくなかった ⑨相談するほどのことではないと思った ⑩その他(具体的に： )	○			
問19	あなたはDVについて相談できる窓口があることを知っていますか。 ①知っている ②知らない				
問20	問19で①と答えた方におたずねします。相談できる窓口について、どのようなところを知っていますか。(〇はいくつでも) ①警察 ②配偶者暴力相談支援センター(愛知県女性相談センター) ③愛知県男性DV被害者ホットライン ④法務局、人権擁護委員、法テラス ⑤民間の団体や機関(民間シェルター、弁護士会など) ⑥瀬戸市の相談窓口(女性の悩みごと相談、人権相談など) ⑦その他(具体的に： )	○	○	○	「あなたはDVについて相談できる窓口があることを知っていますか。」の問いに対して、「ある・なし」を入れてみてはどうでしょうか。(具体的に相談しようと思ったときに何処に連絡すればいいか知っているかどうかも。)
【男女共同参画行政について】					
問21	次の用語について、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものを選んでください。(〇はいくつでも) ①男女共同参画社会 ②女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法) ③男女雇用機会均等法		○	○	



問番	設問	比較可能項目			備考
		前回	県	国	
	④ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和） ⑤ダイバーシティ（多様性） ⑥ジェンダー（社会的性別） ⑦LGBTQ（性的少数者） ⑧DV（ドメスティック・バイオレンス） ⑨JKビジネス ⑩SDGs（持続可能な開発目標） ⑪トライアングルプランⅢ（瀬戸市女性活躍推進計画・第3次瀬戸市男女共同参画プラン） ⑫瀬戸市ライフ・ワーク・バランス推進宣言 ⑬見たり聞いたりしたものはない ⑭わからない				
問22	「男女共同参画社会」・「ダイバーシティ（多様性）」を実現するために、今後、瀬戸市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（○はいくつでも） ①審議会や各種委員会に女性を積極的に登用する ②瀬戸市の管理職に女性を積極的に登用する ③保育施設・保育サービスなどの子育て支援を充実する ④介護施設・介護サービスなどの介護支援を充実する ⑤子育てや介護等でいったん仕事を離れた人の再就職を支援する ⑥男女共同参画社会やダイバーシティについて、市広報誌やパンフレットなどで啓発する ⑦女性の能力開発や人材育成などの講座を充実する ⑧男性の家事・育児・介護等への参加を進めるための講座や啓発を充実する ⑨女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を充実する ⑩学校教育において、男女の平等と相互の理解や協力についての学習機会を充実する ⑪職場における男女共同参画推進について企業等へ働きかける ⑫その他（具体的に： ) ⑬特に必要なことはない ⑭わからない		○	○	

その他：・可能ならコロナ禍の中で感じられた男女格差のようなことについて質問できたらと思いました。DVに関してや小学校等の関係について母親への負担が多くなった等の報道を目にすることも多かったためです。

・新型コロナウイルスの影響下、従来の働き方や就働体制が変化しているので、この辺りの状況についての情報収集と意見交換がしたい。

⇒自由記述欄に「コロナに関して」という枠を設ける